



近畿地方整備局 大阪国道事務所	配布日時	平成27年12月15日 14時00分
資料配布		

件名	<p style="text-align: center;">あじがわぼし 国道43号安治川橋のボルトの落下について (ボルトは補修工事の残存物と判明)</p>
----	--

概要	<p>平成27年11月9日(月)に国道43号安治川橋(大阪市港区波除^{なみよけ}地先)で発見されたボルトについて調査した結果、次の事が判明しましたのでお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 平成22年度の補修工事で伸縮装置の取替を行った際、古い伸縮装置を固定していたボルトを切断撤去しましたが、切断したボルトの回収が確実におこなわれず、一部のボルトが橋梁上に残置されていたことがわかりました。○ 落下していたボルトと橋梁上で発見されたボルトは同一の種類のボルトであることから、残置されていたボルトの1本が、何らかの原因で地上面に落下したものと思われます。 <p>これまでも工事完了時には、後片付けを実施していますが、今回の件を踏まえ部材の交換等の補修工事を行った工事については、完成後の清掃等についてより一層の徹底を図って参ります。</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 副 所 長 古野 幸夫 (内線204) 総括保全対策官 上原 秀樹 (内線308) 電 話 06-6932-1421 (代表)
------	--

- 平成22年度の補修工事で伸縮装置の取替を行った際、古い伸縮装置を固定していたボルトを切断撤去したが、切断したボルトの回収が確実におこなわれず、一部のボルトが橋梁上に残置されていた。
- 切断撤去したボルトは全部で96本。その内回収されずに今回の調査で発見されたボルトは13本。
- 落下していたボルトと橋梁上で発見されたボルトは同一の種類のボルトであることから、残置されていたボルトの1本が何らかの原因で地上面に落下したものと判明。
- 落下したボルトは、古い伸縮装置を取り付けていたボルトであり、このボルトが無くても橋の安全性には全く問題はありません。
なお、新しい伸縮装置は構造が異なるため、古い伸縮装置を取り付けていたボルトやボルト孔を使用する必要はありません。
- 当該補修工事で伸縮装置の取替えを行ったのは当該箇所だけですが、念のため当該工事の施工範囲内を調査点検したが、他にボルト等の残存物件はありませんでした。